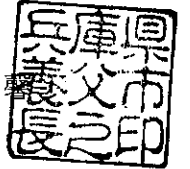




平成19年4月23日

国土交通省 道路局長 様

養父市長 梅谷



今後の道路施策や道路の整備・管理について

養父市は、兵庫県北部の但馬地域の中央に位置し、南北及び東西の国土幹線道路の要衝となっています。

しかし、これらを補完する道路ネットワークを構成する一般国道や県道、市道の整備は、まだまだ十分とは言えず、広域的な通過交通と日常的な交通が輻輳し、各地で渋滞や交通事故が多発している状況であり、円滑で快適な交通及び歩行者の安全な通行確保のため、幹線道路及び生活道路の整備が急務となっております。

また、但馬地域、特に養父市においては少子・高齢化、過疎化が進行し、地域の活力や文化が失われ、若者の流出も来たし、雇用の場づくりが最重要課題となる。そして緊急医療体制のカバー率の低下など医療面に不安も抱えている。しかし、但馬地域は高速交通道路網が未整備であり、高速道路の整備により地域間交流が進み、安心して医療を受けられる命を守る道として、災害時における国民生活・国土を守る道としての期待は大きい。

また、都市との交流を促進し、地域の産業を育み活力を生む道として、そして都市づくりを推進する道として、次世代に誇ることのできる地域を整備するためにも、その根幹たる高速道路の整備を着実に推進することが必要不可欠であります。

よって、北近畿豊岡自動車道の早期完成を図り、鳥取豊岡宮津自動車道を始めとする地域高規格道路や国道9号等の地域幹線道路との体系的な道路整備は、本市にとって真に必要な道路であり、今後も着実に推進していく。

そのため、これら真に必要な道路整備のための財源を確保して頂き、すべて国民の期待する道路行政の推進と地域の課題に的確に対応した道路整備を促進するため、前述に加え下記事項について、中期計画の作成に反映されるよう意見を述べさせていただきます。

記

1. 北近畿豊岡自動車道の早期完成。和田山八鹿間を5年、豊岡まで10年の完成を。
2. 但馬地域は積雪・凍結による交通障害が課題となっており、国道9号をはじめ県道、幹線市道等の歩道未設置箇所及び消雪工等の整備促進。
3. 道路橋梁の計画的な維持管理により、延命化を図る予防的補修と道路本体の老朽化による舗裝修繕等のため維持管理費の確保が必要。